

降れば降るほど楽しい雪遊び



▲色水遊びも子どもたちの大好きな遊びです。色を混ぜたり、固めて宝石にしてみたり、そこからアイス屋さんごっこに発展したり、創造性がふくらみ、友だちとの関わりが生まれ、遊びがどんどん広がっていきます。



▼2月は本当に雪がたくさん降りましたね。気温や天気によるその日ごとの雪質や森の装いの違いも、日々の自然との関わりの中で五感で感じ取っています。



▲手作りのコマで遊びました。うまく回せるようになるまで粘り強く何度もチャレンジしたり、普通のコマとは少し違った回り方をする所を楽しむ姿が見られました。先生に作り方を教えてもらったり、お友だちと対戦したり、遊びを共有する中で様々なやり取りが生まれます。



◀暗くなったらお楽しみのキャンドルタイム。キャンドル点灯が見たくて、中で遊んでいる子が外に出てくることもあります。お友達や先生と「きれいだね」と気持ちや感動を伝え合っています。

もりぴただより

2月号

発行日

2月24日

シマエナガ



ゴジュウカラ

【もりぴたで見つけたよ】
庭に設置しているエサ台に、たくさんの野鳥が遊びに来ています。冬は「混群」と言う、違った種類の野鳥同士がチームになって餌探しをしています。

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
オープンデー			保護者面談	会議	個別支援計画作成		ボランティア受け入れ	関係機関連携会議		運営会議	保護者面談			見学	保護者面談	オープンデー						保護者面談			保護者面談		

2月の予定

「シュルプ・傘」に気付かせてもらったこと

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開幕しました。大きな期待を背負った選手たちが、日々積み上げてきた成果を存分に発揮してくれることを願うばかりです。インタビュアーでは「自分らしいレースを」「自分らしい最高のパフォーマンスを」といった言葉をよく耳にします。

ふと、「自分らしさ」とは何だろうかと考えてみました。Vに尋ねてみると、「自分の価値観や信念、感情に正直であり、それらが言動と一致している状態」とのこと。納得しつつも、私自身を振り返ってみると、これまでは「こうありたい」という理想より、その時々「やりたい」という感情のままに歩んできたように思います。

以前はトレッキングや旭岳への登山、スキーといったアクティブな活動。室内では読書やキャンドル作り。そして最近では、どっぴりと「韓国ドラマ」の世界に浸っています。先日、全「話を見終えた作品は、朝鮮王朝時代の王妃が人の息子を次期王にするため、奔走する物語でした。印象的だったのは、韓国ドラマにつきものの「雨」のシーン。王妃が息子を守るために、自分が濡れるのもいとわず傘と傘を差し出す姿に、深い慈愛を感じて目頭が熱くなりました。その姿を自分に照らし合わせ、考え込んでしまいました。私は日々、子どもたちと向き合う中で、必要な時に「傘」を差し出せているだろうか。タイミングを間違えていないだろうか。時には傘を差さずに見守り、子ども自身から「貸して」と言葉が出るのを待つべきではないか……。

お父さん、お母さんの無償の愛には及びませんが、私も子どもたちの心に寄り添う、素敵な「傘」を差し出せるよう努力したい。そんな決意を新たにしました。

さて、次は何を覗きましょうか。でも、今はオリンピックの熱戦からも目が離せませんね。(木村)

～もりぴたの自然体験プログラム～日常と連動させる



もりぴたで、新しいプログラムを実施する際は、導入の準備に力を入れます。子ども達の不安感をいかに少なくするかが活動への主体的な参加に大きく関わるからです。学校で行う事前授業に近いかもしれません。特徴としては、日々の活動と連動していること、そして、プログラムは単発で終わるのではなく継続するという点だと考えています。

今回は1月のもりぴたcafeで開催した「冬芽観察会」をご紹介します。

まず最初に、もりぴた近くの森の木から枝を切ってきました。近くで見れるように枝を室内に置き、冬芽とは何か？をクイズ形式で掲示しました。その後は、外活動の際にさりげなく、「あ、ここに冬芽ある」とつぶやきます。「冬芽ってなに？」と聞かれたら、「お部屋の中に飾ってある、あれさ」と答えると、子ども達は、室内に戻ってから確認しています。このように、掲示物と活動を連動させました。

イベント当日は、冬芽を分解したり、実際に森にでかけて種類の違う冬芽を探しました。室内掲示により、樹木によって冬芽の形が違うことを子ども達は知っています。

今月のお知らせ

今月の安全対策

児童発達支援及び放課後等デイサービスにおける保護者からの事業所評価と事業所における自己評価の確認を職員で行いました。年に一度、ふり返しを行うことで、日頃気がつきにくい事にも目を向けることができました。保護者からの意見も受け止め、今後も適切な運営につとめます。

装備の確認～防水対策～

気温が高い日が多くなりました。雪も水分を多く含み、これまでよりも早くジャンパーや手袋がベチョベチョになります。ジャンパーに防水スプレーをかける、手袋は替えを持たせるなど、改めて装備の確認と準備をお願いします。それに伴い、着替えの補充もお願いします。

2月のもりぴたオープンデー

毎月第2・第4土曜日開催

利用を検討中の方、関係機関の皆様がもりぴたを見学できる日です。時間は30分程度。申し込みフォームより事前にお申し込み下さい。

詳細・申込はこちらから↓



[所在地] 札幌市南区真駒内165-206
 [電話番号] 011-211-6882
 [HP] <https://moripita.com/>
 [スタッフ] 10人
 [利用者] 児発：4人、放デイ：27人



イベントで使用した冬芽は、室内で経過を観察することにしました。さりげなく窓辺に並べて置きます。種類も混ぜておいたので、ある子に分類をお願いしたところ、もりぴた樹木医のオッケーが出るレベルで分類ができていました。すごいなと感心しました。

イベント後のお庭での雪遊びの際に、ある子が「あそこに冬芽あるね」と指導員に声掛けをしてくれました。ただの木として見るのではなく、冬芽がある木として認識できているんだなとまた感動です。

別の子は、窓辺に置いた冬芽が開芽（冬芽から葉っぱや花が出てくること）しているのを見つけて、「緑になって」と教えてくれました。普段、冬芽について関心がない様子だったので「見たのか！」と驚きました。

もりぴたが療育として実践している自然体験活動は、一見するとただ遊んでいるだけに見えます。このような子ども達の様子は、知識を実体験によって構造化しているのだと実感できる出来事でした。

来月のプログラムカレンダー

もりぴたでの環境を生かした自然遊びなど、毎日様々なプログラムを行っています。メインプログラムだけではなく、子どもたちのやりたい気持ちに合わせた遊びも行っております。

2026年3月児童発達支援プログラム

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2026年3月放課後等デイサービスプログラム

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				